

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	浄化槽設置整備事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市浄化槽等設置事業費補助金 交付要項
			04	01	01	11			
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象	
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体	
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課	
事業期間	1 下水道の整備							業務係	
事業期間	期間限定複数年度（平成25年度～平成29年度）								

現状把握の部（D0）

【目的】 水質保全及び生活環境の向上を図るため、家庭雑排水の適正処理と周辺の水質浄化を行う。	【関連事業】
【期待される効果】 合併浄化槽の普及により、生活環境の保全と公衆衛生が向上する。	【対象者】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の住民（7年以内の整備予定がない地域を含む）
【全体概要】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の地域に対し、浄化槽の設置等に係る助成を行う。	【特記事項】 森林湖沼税の廃止等による県費補助の見直しが行われた場合、補助体系の見直しや市費負担の増額も必要となる。
【平成25年度 事業内容】 5人槽24基 7人槽21基 10人槽5基 合計50基	【平成26年度 事業内容】 転換5人槽7基 7人槽13基 10人槽3基 転換外5人槽15基 7人槽4基 10人槽2基 合計44基 撤去18基
	【平成27年度 事業内容】 転換5人槽12基 7人槽25基 10人槽3基 転換外5人槽10基 7人槽9基 10人槽1基 合計60基 撤去32基

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	12,588	11,838	9,532
	県支出金	20,500	17,253	25,646
	自主財源	3,240	2,102	9,532
歳入計（千円）		36,328	31,193	44,710
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	36,328	31,193	44,710
歳出計（千円）（A）		36,328	31,193	44,710
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.70	0.50	0.60
職員人件費（B）		5,642	3,857	4,770
総事業費（A）＋（B）		41,970	35,050	49,480
			伸び率(%)	決 43.33 予 0.66

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動指標	補助設置基数	基	目標	60.00	60.00	60.00
	補助による高度処理型合併浄化槽設置基数		実績	50.00	44.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	汚水処理人口普及率	%	目標	9.60	10.30	10.40
	行政人に占める合併浄化槽による汚水処理人口の比率		実績	9.96	10.05	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画での高度処理型合併処理浄化槽の設置推進。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助地域は下水道等の未普及地であることから妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 未処理汚水の環境負荷を周知することで設置推進を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 補助を廃止した場合、汲み取りや単独浄化槽からの転換が激減することが予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 下水道等整備区域に対する税金投入と比較し妥当である。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 業務委託による人件費削減を検討する。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助額が高額であることから公平性に対する懸念もあるが下水道等整備区域への公費負担を考慮すると概ね公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	事業目的でもある水質浄化の観点から汲み取りや単独浄化槽からの転換を強化し、更なる普及促進を図る。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 宮本敏光
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 高度処理型浄化槽への転換配置者のため助成予算の確保に努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 田崎清
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 引き続き浄化槽設置整備の促進と予算確保に努めること。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	下水道維持事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	04	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			01	01	02	03		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課
1 下水道の整備								工務係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 公共下水道事業で整備した施設の適正な維持管理を行い、効率的な下水道の処理を図る。	【関連事業】
【期待される効果】 管渠更新時期の延伸による財政負担の分散化、平準化が図れる。	【対象者】 公共下水道区域内住民
【全体概要】 本事業は、市が管理する下水道施設の維持管理を目的としており、事後保全的な対応から施設の改築更新を予防的に対応する。については、下水道施設の長寿命化計画を図り、予算平準化及び維持管理費用の縮減を行う。	【特記事項】 長寿命化計画が必要となる20年を超える管渠施設の調査を実施する。調査区は古い順に処理分区毎に実施。平成24年度より調査を開始し現在調査対象延長約15km弱のうち平成26年度末で14km程度。計画策定目標年度をH28、改築更新工事はH29以降とする。他の区域はについても順次実施する予定。 ※指標は経常・政策を分離したため従来のもの。
【平成25年度 事業内容】 長寿命化現地調査	【平成26年度 事業内容】 長寿命化現地調査
	【平成27年度 事業内容】 長寿命化現地調査 下水道資産台帳整備

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	9,963	1,258
	県支出金	0	0	0
	自主財源	2,675	9,963	19,412
	歳入計（千円）	2,675	19,926	20,670
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	2,675	19,926	20,670
歳出計（千円）（A）		2,675	19,926	20,670
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 3.73 予 皆増
職員人工数		0.30	0.30	0.30
職員人件費（B）		2,418	2,314	2,385
総事業費（A）＋（B）		5,093	22,240	23,055

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	点検回数	回	目標	12.00	12.00	0.00
	中継ポンプ点検回数		実績	12.00	12.00	0.00
	修理回数	回	目標	3.00	3.00	0.00
	中継ポンプ修理回数		実績	2.00	3.00	0.00
成果 指標	故障時間	時間	目標	0.00	0.00	0.00
	ポンプ複数停止による故障時間		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画の適切な維持管理に対応。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共下水道。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新技術の導入。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 老朽化による施設停止は地域住民に重大な影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 農業集落排水事業と統廃合の検討。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 新技術の導入や競争入札によるコストカット。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の長寿命化は不可欠な問題である。事後的な維持管理でなく積極的に施設の改善を進め、将来訪れる施設更新時期の分散化を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
記入者：宮本敏光 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
記入者：田崎清 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 目標を定め接続率向上に努められたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	水洗化普及事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	04	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市水洗便所改造資金助成規則
			01	01	04	03	政策経費		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象	
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	市民の関与	
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課	
事業期間	1 下水道の整備							業務係	
継続	(年度～)								

現状把握の部 (D0)

【目的】 下水道の整備済み区域内の水洗化を早期に図る。	【関連事業】	
【期待される効果】 早期接続による下水道事業の経営安定化。	【対象者】 下水道区域内住民	
【全体概要】 下水道接続支援費補助金や水洗便所改造貸付資金の利子補給をすることで、水洗化への促進を図る。	【特記事項】 下水道接続支援費補助金 20,000円×12件 浄化槽撤去支援費補助金 50,000円×100件 水洗便所改造貸付資金の利子補給 100万円×1.95%×2件 ※平成28年度以降の浄化槽撤去支援費補助金は平成27年度の実績を勘案し予算化する。	
【平成25年度 事業内容】 下水道接続支援費補助金 水洗便所改造貸付資金の利子補給	【平成26年度 事業内容】 下水道接続支援費補助金 水洗便所改造貸付資金の利子補給	【平成27年度 事業内容】 下水道接続支援費補助金 浄化槽撤去支援費補助金 水洗便所改造貸付資金の利子補給

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度						
財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	150	30	120						
	自主財源	211	30	5,159						
歳入計（千円）		361	60	5,279						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	19 負担金、補助及び交付金	361	60	5,279						
歳出計（千円）（A）		361	60	5,279						
（参考）		当初予算額	0	当初予算額	965	伸び率(%)	決	8,698	予	447.0
職員人工数		0.70	0.55	0.70						
職員人件費（B）		5,642	4,243	5,565						
総事業費（A）＋（B）		6,003	4,303	10,844						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	訪問戸数	戸	目標	100.00	100.00	400.00
	水洗化推進のための戸別訪問戸数		実績	346.00	50.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	下水道接続戸数	戸	目標	200.00	200.00	150.00
			実績	136.00	122.00	0.00
	利子補給金交付戸数	戸	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	1.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画にも水洗化の普及向上をうたっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 下水道法で共用開始後3年以内の接続が義務付けられているため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 未接続の理由を調査し、ニーズに合った補助内容を検討する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 水洗化ペースの鈍化が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 補助内容の見直しによるコスト削減検討。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助内容により受益者が変わるため政策としての有効である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	法的に接続義務があることから公費を投入した水洗化普及の判断は難しいとことがある。しかし、一方では水洗化の向上は環境面や事業経営の観点から積極的に取り組む必要がある。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 宮本敏光 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 新たな補助を活用し、加入促進をするよう努力をすること。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	公共下水道整備事業（政策）						事業類型	施設等整備
予算科目	会計	04	款	項	目	事業	要求区分	
			01	02	01	03	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課
1 下水道の整備								工務係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 公共下水道区域内の施設整備を行うことにより、霞ヶ浦の水質保全及び生活環境の向上を図る。	【関連事業】	
【期待される効果】 公衆衛生の確保と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られる。	【対象者】 公共下水道区域内住民	
【全体概要】 本事業は、市下水道事業計画に基づき下水道施設を整備している。また、道路の新設開通などにより新たに必要となる下水道施設についても、柔軟に下水道事業計画を変更し対応する。	【特記事項】 ※都計道路新設に伴い下水道計画を見直し中であるため、平成27年度以降の事業費を把握することができないことから事業費の計上は見送る。 ※活動指標及び成果指標は従前もの。	
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
	管渠基本計画見直し業務	管渠布設設計・工事 都市計画道路神立停車場線新設に係る汚水管渠布設設計業務

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	972	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	0	972	3,500					
	歳入計（千円）	0	1,944	3,500					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	0	1,944	3,500					
	歳出計（千円）（A）	0	1,944	3,500					
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	0	伸び率(%)	決	80.04	予	皆増
職員人工数	0.00	0.30	0.30						
職員人件費（B）	0	2,314	2,385						
総事業費（A）＋（B）	0	4,258	5,885						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動指標	都計道路新設に係る管渠布設 管渠布設工事延長	m	目標	116.00	20.00	0.00
			実績	117.00	20.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	都計道路新設に係る整備面積 新区画割平面図より整備面積	ha	目標	79.20	79.20	0.00
			実績	79.20	79.20	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 下水道の計画的整備に対応。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 公共下水道のため。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない 【理由】 関係機関との連携による工期短縮。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 神立停車場線の整備に合わせ施工するため費用の抑制が可能である。 <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 上水道、道路との一体整備。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 神立停車場線との一体整備によるコスト削減。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	都市計画道路整備に合わせ下水道課管渠を整備することは事業費抑制にも大きな効果があることから更なる事業費削減を検討し、事業を進めることとする。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 宮本敏光 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 道路整備と調整を図り下水道施設の整備を行う。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 目標を定め施設整備に努められたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	水洗化普及事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	05	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	かすみがうら市水洗便所改造資金助成規則
			01	01	01	05			
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象	
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	市民の関与	
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課	
1 下水道の整備								業務係	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 農業集落排水区域内の水洗化を早期に図る。	【関連事業】	
【期待される効果】 早期接続による農業集落排水事業の経営の安定化。	【対象者】 農業集落排水区域内住民	
【全体概要】 浄化槽撤去支援費補助金及び水洗便所改造貸付資金の利子補給をすることで、水洗化への促進を図る。	【特記事項】 水洗便所改造貸付資金の利子補給 上限100万円×1.95%÷2×2件 浄化槽撤去支援費補助金 50,000円×50件 ※平成28年度以降の浄化槽撤去支援補助金は平成27年度の実績を勘案し予算化する。	
【平成25年度 事業内容】 水洗便所改造資金利子補給金	【平成26年度 事業内容】 水洗便所改造資金利子補給金	【平成27年度 事業内容】 水洗便所改造資金利子補給金 浄化槽撤去支援費補助金

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度						
財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	自主財源	0	0	2,520						
歳入計（千円）		0	0	2,520						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	19 負担金、補助及び交付金	0	0	2,520						
歳出計（千円）（A）		0	0	2,520						
（参考）		当初予算額	0	当初予算額	20	伸び率(%)	決	皆増	予	12,50
職員人工数		0.60	0.60	0.60						
職員人件費（B）		4,836	4,628	4,770						
総事業費（A）＋（B）		4,836	4,628	7,290						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	戸別訪問	戸	目標	100.00	180.00	200.00
			実績	177.00	60.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	接続戸数	戸	目標	50.00	50.00	70.00
			実績	25.00	36.00	0.00
	貸付（利子補給）戸数	戸	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画にも水洗化の普及向上をうたっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 共用開始後3年以内の接続が義務付けられているため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 未接続の理由を調査し、ニーズに合った補助内容の検討をする。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 水洗化ペースの鈍化が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 補助内容の見直しによるコスト削減の検討。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助内容により受益者が変わるため政策として有効である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	法的に接続義務があることから公費を投入した水洗化普及の判断は難しいとことがある。しかし、一方では水洗化の向上は環境面や事業経営の観点から積極的に取り組む必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
記入者：宮本敏光 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
記入者：田崎清 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 新たな補助を活用し、加入促進をするよう努力をすること。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	特定環境保全公共下水道維持事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	04	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			01	01	03	03		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第3節 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体
	[2] 下水道						担当課係等	下水道課
1 下水道の整備								工務係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 特定環境保全公共下水道事業で整備した施設の適正な維持管理を行い、効率的な汚水の処理を図る。	【関連事業】	
【期待される効果】 管渠や処理施設の更新時期を延伸することで財政負担の分散化、平準化を図れる。	【対象者】 特定環境公共下水道区域内住民	
【全体概要】 志戸崎・田伏処理分区及び加茂・牛渡地区の処理場及び施設の長寿命化を図り維持管理を適切に行う。	【特記事項】 長寿命化計画が必要な20年超の施設、管渠を調査し、今後の計画策定、工事実施を進める。 ※指標は経常・政策の分離により従前のもの。	
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
長寿命化計画策定に係る調査		下水道資産台帳整備

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	5,670	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	5,670	0	2,833					
	歳入計（千円）	11,340	0	2,833					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	11,340	0	2,833					
歳出計（千円）（A）	11,340	0	2,833						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	0	伸び率(%)	決	皆増	予	皆増
職員人工数	0.30	0.10	0.30						
職員人件費（B）	2,418	772	2,385						
総事業費（A）＋（B）	13,758	772	5,218						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	点検回数	回	目標	12.00	12.00	12.00
	中継ポンプ点検回数		実績	12.00	12.00	0.00
	修理回数	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	4.00	3.00	0.00
成果 指標	故障時間	時間	目標	0.00	0.00	0.00
	ポンプの複数故障による停止時間		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 施設の適切な維持管理に対応。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共下水道のため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新技術の導入。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 老朽化による施設の停止は地域住民に重大な影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 農業集落排水事業との統廃合を検討。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 新技術の導入や競争入札によるコスト削減。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	整備時期が近い施設が多いことため通常の維持管理から施設寿命延伸などの積極的維持管理を進め概成施設更新時期の分散化を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：宮本敏光 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 下水道施設の長寿命化対策を図ることにより維持管理の経費削減を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：田崎清 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 目標を定め維持管理費の軽減に努められたい。		